

ゆとり

(理念)

地域の基幹病院として、患者様に信頼され、愛され、満足される、質の高い医療を目指します。

(基本方針)

1. 高度医療の充実
 1. 高齢化社会への対応
 1. 予防医学の充実
- を目指した、「手作りの医療」を心がけています。

** Contents **

- ◆TOPICS 1 平成26年3月稼働予定の「最先端医療機器」のご紹介
- ◆TOPICS 2 「花粉症」のシーズンがやってきます！

～お知らせ～

- 平成26年3月に新規のX線検査機器、マンモグラフィーが稼働予定となっています。そのための工事が順次施行されています。工事期間中は患者様にご迷惑をかけることがあるかもしれませんが、ご理解とご協力をお願い致します。
- 外来担当表が1月4日より一部変更となっております。詳細については、外来担当表をご覧ください。

※次回第22号発行は、平成26年4月発行予定

平成26年3月稼働予定の「最先端医療機器」のご紹介

1. 最新のデジタルマンモグラフィー装置稼働予定!!

「MicroDoseMammography」という機器が導入されます。



ポイント

現システムと比較して

「被ばく量・検査時間」が 1/2 になります!



①撮影X線量が低減

Photon-Counting技術により、撮影X線量が低減。従来の約半分のX線照射量で撮影することができ、被検者の負担を軽減。

②高画質な撮影画像

画素サイズ50マイクロメートルの高解像度。Photon-Counting技術により、検出データに含まれるノイズ成分が低減。

従来のFPDで見られる「デッドピクセル」による画像情報の欠落がないので、乳房を高画質に撮影することが可能。

2. さらにX線検査では新規FPDシステムが稼働予定!!

「RAD speed Pro」という機器が導入されます。



ポイント

現システムと比較して **「被ばく量」が 1/2 になります!**

①撮影X線量が低減

蛍光体にヨウ化セシウム(CsI)を採用したことで、X線照射量を抑えた撮影が可能となり、被検者の負担を軽減。

②高画質な撮影画像

新開発のピクセルピッチ125μmの高精細・高画質なX線平面センサーを搭載。

約1130万画素という高精細で、骨部なども鮮明に撮影可能です。



「放射線と検査」について

■ 放射線とは

放射線は物質を透過する性質を持つために、体に傷を付けずに体の内部の情報を知るためによく用いられます。胸部・腹部・四肢のX線検査、造影剤を用いる胃のバリウム検査、断層撮影であるCT検査、マンモグラフィーが主な放射線検査です。

■ 検査による放射線被ばくにより人体への影響

放射線の量を示す単位としてはmSV（ミリシーベルト）というものを使います。一般に成人の体に影響が出始める放射線被ばくの量としては、200mSVとされています。

では、検査1回あたりでどのくらい放射線被ばくをするのでしょうか？

撮影の条件によっても多少異なりますが、胸のレントゲン撮影では0.05mSV、胃のバリウム検査では2.0mSV、頭部のCT撮影では0.5～1.5mSV、マンモグラフィーでは0.1mSV、胸部のCT撮影でも7.0mSVといったところです。

このように私達がレントゲンやCTなどの検査で放射線被ばくする量は健康に影響を及ぼす線量と比較すると極めて小さいと考えられます。

また人間が自然界から受ける年間放射線量は2.4mSV程度とされています。



■ さらに安心して検査を受けて頂くために

当院では平成26年3月より**最新のレントゲン装置・マンモグラフィー装置**が稼働する予定です!!

従来の装置と比べると**放射線量は1/2**にまで抑えられるため、より安心して検査を受けることができます。

現在、**全国でも数台しか導入されていない最先端医療機器**です。

「花粉症」のシーズンがやってきます！

■花粉症とは…

花粉症とは、花粉に対して人間の体が起こすアレルギー反応です。

人間の体内に花粉が入ると外へと花粉を出そうとするためにくしゃみ・鼻水・涙などの症状が表れます。

■流行時期について

2月から4月にかけては日本特有の木、スギの花粉飛散がピークを迎えます。早めの予防を心がけ、つらい花粉症のシーズンを乗り切りましょう！

■予防と対策

【外出時の対策】

○花粉情報をチェック

→テレビやインターネット等で気象情報や花粉情報を入手しましょう。

○外出を控えめに

→地域によって異なりますが、1日のうち飛散の多い時間帯は午後1時～3時頃とされています。

○外出時は完全防備で

→帽子・マスク・メガネ・マフラーを身につけ、コートもツルツルとした素材のものを選ぶと良いでしょう。

○帰宅時は玄関でシャットアウト

→衣服等についた花粉はきちんと外で払って室内に持ち込まない工夫と努力を。

○帰宅後は洗顔やうがい手洗い

→体に付着した花粉はきちんと洗い流すよう普段から習慣づけましょう。また風邪予防にもなります。

【室内での対策】

○ドア、窓を締める

→花粉の飛散が多い時はきちんと締めて外からの花粉の侵入を防ぎます。

○掃除はこまめに

→床がフローリングであれば毎日拭き掃除をすると効果的です。

